

令和7年度 事務事業評価一覧

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和7年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的方向性
1	協働推進課	国際化推進事業	外国籍市民が暮らしやすい生活環境をつくるとともに、国際感覚豊かな市民の育成に努める。	①外国籍市民生活相談を実施する。 ※週5日(月・金曜日は午後1時から4時まで、火・水・木曜日は午前10時から午後4時まで)とする。 ②外国語版生活ガイドホームページ(英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語・日本語)を更新する。 ③外国語版生活ガイドブック(英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語・ネパール語・やさしい日本語)を作成する。 ④ワンナイトステイ事業(県事業)に協力する。	4,478	ワンナイトステイ事業への協力世帯数(世帯)	5	3	継続
						外国籍市民の生活相談件数(件)	350	337	
2	協働推進課	平和推進事業	戦争の悲惨さ、平和の大切さを市民とともに発信し、誰もが安全で安心な生活を営むことができる平和な世界の実現を目指すことを目的とする。	ふじみ野市平和推進事業実行委員会において、「令和7年度ふじみ野市平和祈念フェスティバル」の開催内容を企画していただいた。 フェスティバル当日(9月21日)は、実行委員会運営の下、講演会、合唱、パネル展示を実施した。 また、平和首長会議より提供いただいた「原爆ポスター展ー1945年から未来へのメッセージー」を、大井総合支所1階展示スペース(9月8日～9月19日)と、市役所本庁舎ギャラリー(9月22日～9月26日)で開催した。 併せて、戦後80年特別事業として、「ふじみんメッセージパネル」及び「ふじみんぬりえ」で平和を表現していただいた。	2,589	フェスティバルの来場者数(人)	160	120	継続
3	市民総合相談室	人権推進事業	人権の世紀と言われる21世紀を差別や偏見のない心の通い合う明るい社会にするため、人権問題に対する教育・啓発を推進する。同和問題、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人などの人権問題について市民一人ひとりが理解を深め、互いの人権を尊重する地域社会をつくることを目的とする。	地域人権啓発活動活性化事業委託金を活用した人権講演会事業の実施。また、川越人権擁護委員協議会入間東部部会の事務局として業務の運営等、人権擁護委員と連携した人権啓発活動をはじめとした各種事業を実施し、市民の人権意識の高揚を図った。	13,715	人権問題市民・企業講演会参加者数(人)	50	43	継続
						人権・同和問題職員研修会参加者数(人)	50	21	
						人権問題に関する講演会等参加者の関心度、理解度アンケート(市民総合相談室事業分)(%)	96	97.6	
4	市民総合相談室	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会を実現するため、ふじみ野市第2次男女共同参画基本計画に基づき進行管理を行い、男女共同参画意識の啓発及び庁内の男女共同参画施策の推進を図る。	審議会等への女性委員の登用促進を目的とした「ふじみ野市審議会等への女性委員登用促進要綱(令和8年4月1日施行)」を制定した。	14,225	ふじみ野市男女共同参画のまちづくり委託事業の参加者数(人)	200	200	継続
						審議会等女性委員の割合(%)	40	34.5	
5	社会教育課	人権教育・平和推進事業	人権問題の講座や研修会を開催し、市民の人権意識の高揚を図る。 憲法、教育基本法に基づき平和を希求し、平和を主体的に創造する市民意識の高揚を図る。 人権や平和の大切さを市民とともに発信し、誰もが安全で安心な生活を営むことができる世界の実現を目指す。	1 人権教育事業 ふじみ野市人権教育推進協議会の主催事業として、研修会2回(6月28日、12月13日)、人権週間啓発キャンペーン(12月5日)のほか、人権教育親子映画会(8月20日)をステラ・ウェストホールを会場として2回上映した。また、市・市教育委員会・同協議会の共催事業として、人権講演会(2月21日)を俳優の宇梶剛士さんを講師に招き「転んだら、どう起きる?」というテーマで実施した。 2 平和推進事業 実行委員会形式による「ふじみ野市平和祈念フェスティバル」を9月21日に協働推進課と共催で実施した。戦後80年ということもあり、原爆の被害を伝える内容で実施した。	7,322	人権問題に関する講演会等参加者の関心度、理解度(%)	96	95.17	継続
						人権教育推進協議会主催事業(講演会・映画会・研修会)参加者(人)	1,100	865	